

ALESIS

SamplePad 4

ユーザーガイド

安全にお使いいただくために

この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクターが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[WEB] <http://alesis.jp/>

ALESIS <お問い合わせ>

カスタマー・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23
オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

ユーザーガイド

はじめに

同梱品

- ・ SamplePad 4
- ・ 電源アダプター
- ・ User Guide (英文)
- ・ Safety & Warranty Manual (英文)

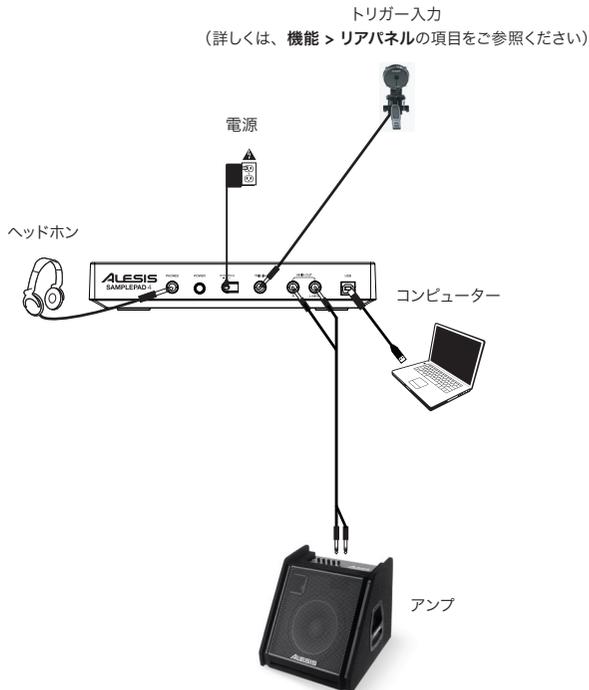
サポート

SamplePad 4 の最新情報 (システム要件や互換性など) につきましては、製品ページをご覧ください。
<http://alesis.jp/samplepad-4/>

Alesis 製品のサポートにつきましては、以下のページをご覧ください。
<http://alesis.jp/support/>

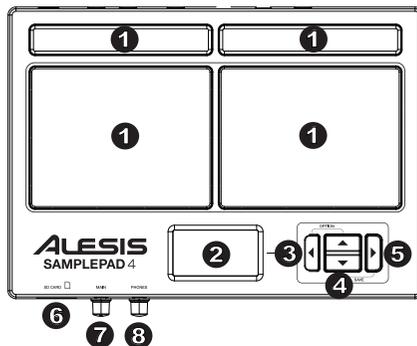
クイックスタート / 接続例

はじめに > 同梱品リストにないものはすべて別売です。

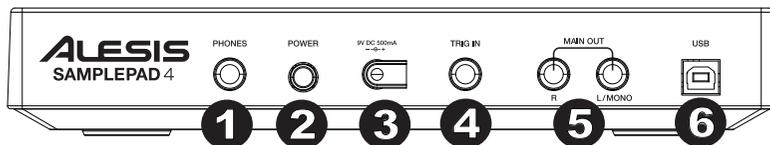


トップパネル

- パッド**：これらのシングルゾーンパッドをドラムスティックで叩くことで SamplePad 4 を使った演奏が可能になります。またパッドを叩くと、そのパッドの周囲の LED が点灯します。
- ディスプレイ**：SamplePad 4 の現在の設定や機能をディスプレイに表示します。
- カーソル左**：このボタンを押して、パラメーターの値を下げます。
- カーソル上・下**：このボタンを押すことで、設定するパラメーターの選択や、メニュー画面でのオプション選択を行います。
- カーソル右**：このボタンを押して、パラメーターの値を上げます。また、このボタンで、サブメニューの選択もできます。
- SD カードスロット**：ご自分のオリジナルサンプル（WAV ファイル）を含んだ市販の SD カード（別売）をこのスロットに挿入します。
- メイン音量**：このノブを使って、メイン出力の調整を行います。
- ヘッドホン音量**：このノブを使って、接続されているヘッドホンの音量を調整します。



リアパネル



- ヘッドホン端子**：6.3mm の標準ステレオプラグのヘッドホンを接続します。
- Power ボタン**：このボタンを押して、SamplePad 4 の電源を入れます。電源が入っている状態で再度このボタンを 2 秒長押しすると、電源がオフになります。
- 電源コネクタ**：付属の電源アダプターをこの端子に接続します。
- Trig (トリガー) 入力端子**：デュアルゾーンまたはシングルゾーンのパッドやシンバルパッドなど、トリガー出力される増設パッドを接続します。デュアルゾーンは 6.3mm TRS ケーブル（標準ステレオフォンプラグ）、シングルゾーンは 6.3mm TS ケーブル（標準フォンプラグ）をお使いください。この入力端子に接続したトリガーは、EXT1A や EXT1B と認識され、それぞれサンプルをアサイン可能です。
- メイン出力**：6.3mm 標準フォンプラグのケーブルでスピーカーやアンプを接続します（モノラルサウンドで使用したい場合は、ケーブルを左の出力にだけ接続してください）。
- USB・MIDI 端子**：USB ケーブル（別売）でコンピューターと接続します。USB ケーブルを通して、MIDI 情報のやり取りを行います。また SD カードを使用している場合は、この端子を通じてサンプルをカードに保存することができます。

ディスプレイ

1. **KIT** : 選択されているキットがディスプレイの表示で確認できます。
2. **LOC (サンプル・ロケーション)** : 使用しているパッドのペロシティレイヤーに設定されているサンプルの保存場所が確認できます。
3. **WAV (サンプル名)** : 使用しているパッドのペロシティレイヤーに設定されているサンプル名が確認できます。
4. **PAD (トリガーロケーション)** : 現在選択されているパッドが確認できます。
5. **LAYER (ペロシティレイヤー)** : 現在選択されているパッドのペロシティレイヤーを確認できます。
6. **他のパラメーター** : リバープやレベル、チューニングとパンニングの状況を確認できます。また MIDI ノートやモードも設定次第で確認することが可能です。



操作方法

キットの選択方法 :

1. 上下カーソルで、キット番号にカーソルを合わせます。
2. 左右カーソルで、キットを選びます。
3. 左、または右カーソルを長押しすると、キットを素早く送って選択可能です。

パッドやトリガーのサンプル選択方法 :

1. 上下カーソルで、カーソルを **PAD (トリガーロケーション)** に合わせます。
2. 左右カーソルで、サンプルをアサインしたいパッドを選びます。
3. 上下カーソルで、カーソルを **LOC (サンプル・ロケーション)** に合わせます。
4. 左右カーソルで、目的のサンプルが保存されている場所 (**INT** : 本体、**CARD** : SD カード) を選びます。
5. 上下カーソルで、カーソルをサンプル・ネームに合わせます。
6. 左右カーソルで、目的のサンプルを選びます。

ベロシティレイヤー：

SamplePad 4 は、一つのパッド（外部トリガ）に対して二つのサンプルをアサインできます。これをレイヤーと呼び、目的のサンプルが SD カードにある場合（サンプル・ロケーションが CARD の場合）のみ、LAYER A と LAYER B の二つのレイヤーに別々のサンプルをアサインすることができます。この二つのレイヤーは、ベロシティ（パッドを叩く強さ）によって、アサインされた二つのサンプルを同時に鳴らしたり、それぞれ鳴らし分けることが可能です。

パッドやトリガーのレイヤーにサンプルをアサインするには：

1. 上下カーソルで、カーソルを **LOC（サンプル・ロケーション）** に合わせます。
2. 左右カーソルで、ロケーションを SD カード（**CARD**）に設定します。
3. 上下カーソルで、カーソルを **LAYER（ベロシティ・レイヤー）** に合わせます。
4. 左右カーソルで、設定したいレイヤー（**A** または **B**）を選択します。
5. 上下カーソルで、ベロシティ・パラメーター（**VEL**）に合わせます。
6. 左右カーソルで、現在のレイヤーのサンプルを鳴らしたいベロシティ（パッドを叩く強さ）の範囲（**000-127**）を設定します。
7. 上下カーソルで、カーソルを **サンプル・ネーム** に合わせます。
8. 左右カーソルで、SD カードに含まれている目的のサンプルを選びます。

サンプルファイルの条件

SamplePad 4 で発音可能なサンプルファイルは、以下のような条件を満たす必要があります。

- サンプルファイルは、**16bit**、**モノラル**または**ステレオ**、**WAV ファイル**である必要があります。
- 使用する SD カードまたは SDHC カードは、**32GB** までの容量に対応しています。
- .WAV ファイルは、SD/SDHC カードのルート（メイン）ディレクトリに格納する必要があります。フォルダに入れたファイルは認識しません。
- SD/SDHC カードは、FAT32 でフォーマットされることを推奨します。
- 使用する .WAV ファイルは、以下のルールで名前付けをします。
 - ・これらの文字は使えません：“ * / \ : < > ? |
 - ・スペースは使えません。
 - ・拡張子（.wav）を除いて、半角英数字 **8 文字**までとなります。
- 1 キットにロードできるサンプルファイルの総容量は **14MB** までです。また、個々のサンプルファイルの容量は、アサインされる時点で 1MB 未満の数値は切り上げられます（実容量 2.1MB のサンプルファイルのアサインした場合は、3MB のサンプルファイルとして扱われます）。
- ルート（メイン）ディレクトリに保存するサンプルファイルは、最大 512 個までです。
- SamplePad 4 で、WAV ファイルを選択した場合、完全にロードが終わるまでに数秒かかります。
- .WAV ファイルのサンプリングレートは、**48kHz**、**44.1kHz**、**32kHz**、**22.05kHz**、**11.205kHz** に対応しています。
- SD カードを挿入していない場合は、サンプル・ロケーション（LOC）で CARD は選べません。

レイヤー・パラメーターの編集

サンプルのピッチを調整するには：

1. 目的のパッドを一度叩いて選択します。
2. 上下カーソルで、チューン (TUNE) に合わせます。
3. 左右カーソルで、チューニングを設定します (-4 ~ +4)。

サンプルのリバーブ・レベルを調整するには：

1. 目的のパッドを一度叩いて選択します。
2. 上下カーソルで、リバーブ (REV) に合わせます。
3. 左右カーソルで、リバーブのレベルを設定します (00 ~ 10)。

パッドの感度を調整するには：

1. 目的のパッドを一度叩いて選択します。
2. 上下カーソルで、感度 (SENS) に合わせます。
3. 左右カーソルで、感度のレベルを設定します (00 ~ 08)。値が大きいほど感度がよくなります。

サンプルの音量を調整するには：

1. 目的のパッドを一度叩いて選択します。
2. 上下カーソルで、音量 (LEV) に合わせます。
3. 左右カーソルで、音量を設定します (00 ~ 10)。

サンプルのパンを調整するには：

1. 目的のパッドを一度叩いて選択します。
2. 上下カーソルで、パン (PAN) に合わせます。
3. 左右カーソルで、パンを設定します (L4 ~ R4)。

パッドの MIDI ノートナンバを調整するには：

1. 目的のパッドを一度叩いて選択します。
2. 上下カーソルで、MIDI ノートナンバ (MIDI) に合わせます。
3. 左右カーソルで、MIDI ノートナンバを設定します (000 ~ 127)。

パッドのモードを変更するには：

1. 目的のパッドを一度叩いて選択します。
2. 上下カーソルで、モード (MODE) に合わせます。
3. 左右カーソルで、モードを選択します。モードの種類は以下の通りです。
 - **PLY (Polyphonic)**
パッドを複数回叩くと、その分、サンプルが重なって発音されます。
 - **MON (Monophonic)**
パッドを複数回叩くと、前に発音されているサンプルは打ち消されて、毎回新たにサンプルが発音されます。
 - **LOP (LOOP)**
一度パッドを叩くと、サンプルが繰り返し発音されます。もう一度パッドを叩くと、発音が止まります。
 - **STP (STOP)**
パッドを叩くと、現在発音されているすべてのサンプルが停止します。
 - **TMP (TEMPO)**
パッドを回数連続で叩くと、内蔵メトロノームのテンポを設定できます。
 - **CLK (CLOCK)**
パッドを叩くと、内蔵メトロノームの再生と停止が行えます。

ミュート・グループ

通常、あるパッドを叩いてサンプルを発音させた後、別のパッドを叩くと、そのサンプルも前のサンプルに重なってどちらも発音されます。ミュート・グループ機能を使うと、後からパッドを叩いた際に、前のサンプルの発音を停止させることができます。例えば、あるパッドにハイハット・クローズの音をアサインし、別のパッドにハイハット・オープンの音をアサインし、それぞれ同じミュート・グループに設定すると、本物のハイハットと同様に、ハイハット・オープンの音が鳴っている時にハイハット・クローズのパッドを叩くと、オープンの音はそこでミュートされて、叩いたクローズの音だけが発音されます。ミュート・グループ番号が同じに設定されたパッドにアサインされたサンプルは、互いにどちらも同時には発音されなくなります。

ミュート・グループを設定するには：

1. ミュート・グループを設定したいパッドを一度叩いて選択します。
2. 上下カーソルで、ミュート・グループ (MGRP) に合わせ、左右カーソルで、ミュート・グループの番号 (1-16) を設定します。
3. ミュート・グループを設定したい別のパッドも同様にグループを設定します。ミュート・グループは、同じグループ番号が設定されているパッド同士で機能します。

オプションメニュー

SamplePad 4 のオプションメニューでは、SamplePad 4 全体のグローバル・セッティングを設定します。

オプションメニューに入り、各グローバル・セッティングを設定するには：

1. **上カーソルと左カーソル**を 2 秒ほど同時に長押しすると、オプションメニューに入ります。
2. **上下カーソル**で、目的のメニューに合わせ、**右カーソル**を押すことで、その設定画面に移ります。
3. **上下カーソル**で、設定したいパラメータに合わせ、**左右カーソル**で値を設定します。
4. 前の画面に戻るには、**上カーソルと左カーソル**を 2 秒ほど同時に長押しします。



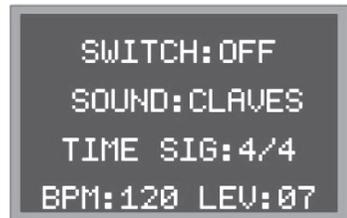
オプションメニューのグローバル・セッティングを保存するには：

1. **下カーソルと右カーソル**を 2 秒ほど同時に長押しすると、セブメニューに入ります。
2. **上下カーソル**で、SAVE GLOBAL SETTINGS > SAVE GLOBAL に合わせます。
3. **右カーソル**で、SAVE GLOBAL SETTINGS に入ります。
4. **上下カーソル**で、YES を選び、**右カーソル**で実行します。Global settings have been saved というメッセージが表示され、これが消えたら保存完了です。
5. **上下カーソル**で、EXIT を選び、**右カーソル**で SAVE GLOBAL SETTINGS から抜けます。または、**下カーソルと右カーソル**を 2 秒ほど同時に長押しすると、前の画面に戻ります。



メトロノーム (METRONOME)

- **SWITCH**：メトロノームのオン・オフを選びます。
- **SOUND**：VOICE、METRONOME、CLAVES、STICKS、COWBELL、BEEP の中からメトロノームの音色を選びます。
- **TEMPO**：メトロノームの速度 (BPM30 ~ 280) を設定します。
- **LEVEL**：メトロノームの音量を設定します (00 ~ 10)。
- **TIME-SIG**：メトロノームの拍子を設定します。設定可能な拍子は、以下の通りです。
1/2、1/4、1/8、1/16、2/2、2/4、2/8、2/16、3/2、3/4、3/8、3/16、4/2、4/4、4/8、4/16、5/2、5/4、5/8、5/16、6/2、6/4、6/8、6/16、7/2、7/4、7/8、7/16、8/2、8/4、8/8、8/16、9/2、9/4、9/8、9/16



MIDI

- **RECEIVE CH** : SamplePad 4 の MIDI 受信チャンネルを設定します (ALL、01 ~ 16)。
- **SEND CH** : SamplePad 4 の MIDI 送信チャンネルを設定します (01 ~ 16)。
- **RECEIVE PC** : 外部 MIDI デバイスからプログラム・チェンジ情報を受け付けるかどうかを設定します。
- **SEND PC** : 外部 MIDI デバイスへプログラム・チェンジ情報を送出するかどうかを設定します。
- **MIDI CLK** : SamplePad 4 が MIDI クロックを送信または受信するかどうかを設定します (SND、RVE、OFF)。

```
RECEIVE:
  CH:01  PC:OFF
SEND:
  CH:10  PC:OFF
MIDI CLK:OFF
```

USB ロード・モード (LOAD SAMPLES/KITS VIA USB)

- このモードを選び、USB ケーブルでコンピューターと接続すると、SamplePad 4 に挿入している SD カードがそのままコンピューターに認識されマウントしますので、コンピューター上で SD カードの内容の管理が行えます。このモードから抜けるには、上カーソルと左カーソルを 2 秒ほど同時に長押しします。

```
SamplePad is now
connected to
your computer.

To Exit,
hold UP and LEFT
```

その他 (OTHER)

- **PAD CURVE** : パッドの叩く強さに対する感度のカーブを設定します (1 ~ 8)。この設定は、すべての内蔵パッドに影響します。値を変える際は、実際にパッドを叩きながら感度を確認しながら行えます。
- **AUTO-SHUTDOWN** : オートパワーオフまでの時間を設定します (OFF、30MIN、60MIN)。何も操作しないで設定した時間が過ぎると、自動的に電源がオフになります。

```
PAD CURVE:01
AUTO-SHUTDOWN:
30 MINS
```

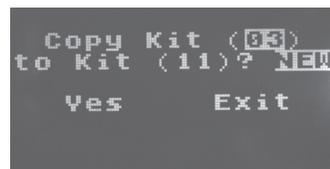
キットの保存

1. 保存したいキットを選びます。
2. **下カーソル**と**右カーソル**を 2 秒ほど同時に長押しして、セーブメニューに入ります。
3. **上下カーソル**で、SAVE KIT に合わせます。
4. **右カーソル**で、SAVE KIT に入ります。
5. **上下カーソル**で、YES を選び、**右カーソル**で実行します。
Kit (xx) has been saved というメッセージが表示され、これが消えたら保存完了です。
6. **上下カーソル**で、EXIT を選び、**右カーソル**で SAVE KIT から抜けます。または、**下カーソル**と**右カーソル**を 2 秒ほど同時に長押しすると、前の画面に戻ります。



キットのコピー

1. **下カーソル**と**右カーソル**を 2 秒ほど同時に長押しして、セーブメニューに入ります。
2. **上下カーソル**で、COPY KIT に合わせます。
3. **右カーソル**で、COPY KIT に入ります。
4. **左右カーソル**で、コピーしたいキットを選びます。
5. **下カーソル**で 2 行目に移り、**左右カーソル**で、コピー先のキットを選びます。
6. **上下カーソル**で、Confirm を選び、**右カーソル**で実行します。
Kit (xx) has been copied to Kit (xx) というメッセージが表示され、これが消えたらコピー完了です。
7. **上下カーソル**で、EXIT を選び、**右カーソル**で COPY KIT から抜けます。または、**下カーソル**と**右カーソル**を 2 秒ほど同時に長押しすると、前の画面に戻ります。



工場出荷状態への初期化

内蔵のキットとグローバル・セッティングを工場出荷時の状態に戻すには、**左右カーソル**を押しながら SamplePad 4 の電源を入れます。Factory Reset と表示され、これが消えたら左右カーソルから手を離します。SD カード上のサンプルやキットには影響はありません。

付録

仕様

端子：	ステレオメイン出力端子 (L/MONO、R・6.3mm 標準フォン端子)、ヘッドホン端子 (6.3mm 標準ステレオフォン端子)、デュアルゾーンパッド対応トリガー入力端子 (6.3mm 標準ステレオフォン端子)、USB 端子、電源コネクタ
対応 SD/SDHC カード：	32GB までの SD/SDHC カード、FAT32 フォーマット
対応ファイルフォーマット：	WAV フォーマット、16bit、モノまたはステレオ、サンプリング周波数：11.025、22.05、32、44.1、48kHz
電源：	電源アダプター付属 (DC9V、500mA、センタープラス)
サイズ：	約 260 x 180 x 42mm (W x D x H・突起物含まず)
重量：	約 1.2kg

仕様は断りなく変更になる場合がございます。

商標及びライセンス

Alesis は、InMusic Brands, Inc.、の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

SD は SD-3C の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。

その他すべての製品名あるいは会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

alesis.jp